

9月議会

8/23～9/25

9月定例議会は、9月25日に閉会しました。最終日の25日は各議案に対する採決が行われました。日本共産党は一般会計決算等5つの議案に対し、理由を述べて反対しました。主な議案に対する討論は下記の通りです。各議案に対する会派、議員の態度は、次週9月議会特集号で掲載します。

主な議案に対する討論者

議案	提出者	賛成討論	反対討論	可否
令和5年度一般会計決算	市長	田中将之	西山 実	可
令和5年度国民健康保険特別会計決算	市長	中島裕介	山岡光広	可
令和5年度後期高齢者医療特別会計決算	市長	北田麗子	山岡光広	可
令和5年度介護保険特別会計決算	市長	木村眞雄	山岡光広	可
国民健康保険条例の一部改正（背景に被保険者証を発行しない）	市長	中島裕介	山岡光広	可
生活保護世帯に「夏季加算」補助及びエアコン未設置世帯への設置補助を求める請願	生活と健康を守る会 会長門治	山岡光広	木村眞雄	否
沖縄での米軍による性被害根絶を求める意見書	岡田重美	山岡光広	北田麗子	可
敦賀原発2号機「不適合」を受けて廃炉の決断を求める意見書	山岡光広	西山実	橋本律子	否
教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書	西山実	岡田重美	木村眞雄	否

令和5年度一般会計決算認定 西山議員反対討論

歳入決算額471億582万円、歳出決算額443億9361万円

最終日、西山実議員が令和5年度甲賀市一般会計決算に対し行った反対討論は次の通りです。（骨子）

物価高騰と消費税が重くのしかかり、市民の暮らし・家計は大変な状況。社会保障も削られ負担が重くなるばかり。国の給付金なども活用し一定の支援はされているが、市民に寄り添い、願いを実現するそういう市政運営が必要である。

歳入では、個人市民税、法人市民税ともに前年度に比べ伸びているが、市民の生活は長引く物価高騰等により経済的に大変な世帯も多く、収入の格差

が広がっているのが実態ではないか。市民の懐を暖める施策が必要。ふるさと納税は寄付総額は3億82万1800円と前年に比べ3112万円の減少であり、市民が他市町へ寄附した額や必要経費等を除くと収入は多くなく、財源確保策として有効とは言えない。

歳出では、中学卒業までの医療費完全無料化が実施された。令和6年度からの高校卒業までの医療費無料化につながるが、評価するもの。岩永市政の特徴としてアウトソーシング・業務委託の多さがあげられるが、みなくち診療所は指定管理に、老健ささゆりは完全閉鎖

となった。地域包括支援センターは信楽に続き土山も民間委託とされた。福祉や医療に関わる事業は、市民の命・暮らしに直結するものであり、市の直営とすべき。広島平和記念式典への小学生派遣事業は市が誇る平和事業。令和6年度は実施されたものの、5年度に予算化されなかったことは問題。決算審査時、令和5年度の新規事業で未執行の事業が5件もあることが明らかになった。制度設計が甘かったと市当局も認めているが、事業そのものが市民のニーズに応えたものかなど今後

に生かすべき課題が大きい。

生活保護世帯に「夏季加算」補助及びエアコン未設置世帯への設置補助を求める請願

不採択

甲賀生活と健康を守る会（会長 門治氏）から提出された、生活保護世帯に「夏季加算」とエアコン未設置世帯への設置補助を求める請願は、異常気象のなか、いのちに関わる切実な市民の願いですが、最終日の本会議での採決では、賛成少数で不採択となりました。

公明党の木村眞雄議員は「保護費のやりくりや貸付利用がある。設置に補助することは生保の趣旨の自立の助長にならない。」と反対討論。日本共産党の山岡光広議員は「生活保護は国民の生存権を保障する制度。最低限度の生活とはいのちを守ることに、異常な猛暑でいのちが脅かされている。命を守るためサポートするのは当然ではないか」と賛成討論しました。賛成は日本共産党の山岡・岡田・西山の3議員と無党派の福井進議員のみ。

日本共産党躍進めざす集い

- とき：9月29日(日)午後3時から
- ところ：サントピア水口 ホール

穀田恵二衆議院議員が自民党総裁選直後の情勢を語ります。小西きよつぐ元市議もご挨拶します。ぜひご参加ください。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2024年9月29日 第512号	 山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415	 岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696	 西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
---	--	---	---